

常呂川 森林環境保全 ふれあいセンター



地域の特徴

オホーツク海に面した北海道網走支庁管内は、全国的に見ても日照時間が多く、比較的穏和な地域です。反面、冬期間は、オホーツク海を南限とする流水に覆われ、夏冬の寒暖の差が著しい地域です。この地域は、農業、林業、水産業などの資源循環型である第1次産業が主体で、小麦や甜菜の畑作、カラマツやトドマツなどの木材生産、ホタテ貝やサケなどの沿岸漁業が盛んです。

活動区域と主な取り組み内容

当センターは、東大雪に源を発する常呂川流域の国有林を主な活動区域としています。

この第1次産業が主体となっている常呂川流域は、自然環境の保全や森林整備等の関心が高い地域でもあることから、常呂川の中流域に位置する「オホーツクの森」で、NPOやボランティア団体、地元町、関係する漁業団体等による自然再生等への取り組みや、森林環境教育に取組み教育関係者等への支援を行っています。



自然再生の取組

「オホーツクの森」自然再生モデル事業の実施

オホーツクの森」で、生物多様性の保全など公益的機能の充実を図り、森林の持つ多面的機能が総合的かつ高度に発揮できる針広混交林へ誘導・再生を図る事業を実施します。



森林環境教育の取組

「オホーツクの森の森林環境教育フィールド案内書」の活用

教職員などの方々が、森林環境教育に取り組むための支援として、現地で活用できる「オホーツクの森の森林環境教育」フィールド案内書を小・中学校等に配布するとともに、要望により教職員等に対する研修会等を実施します。



看板や道案内板の整備

「オホーツクの森」のフィールド整備

森林環境教育の支援を行うために、森林管理署と連携して看板や道案内板の整備を行います。また、同案内板と連携した「オホーツクの森フィールド案内」を作成し、主要な場所に配備します。

常呂川森林環境保全ふれあいセンター

〒090-8598 北見市北斗3丁目11-3(北見事務所庁舎内) TEL.0157-23-2960 FAX.0157-23-2472

E-mail:h_tokoro_f@rinya.maff.go.jp URL:http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/fc/tokorogawa_hp/